

民主苦小牧号外

# こんにちは

日本共産党市議会議員

# 小野寺ゆきえです！



SNSでも街頭でも!!

昨年の総選挙と今年7月の参院選では、SNSでの配信が選挙の結果に影響したように思えます。日本共産党でも、中央委員会や北海道委員会を中心に様々な動画を配信してきましたが、他党と比較するとまだまだでした。

そこで、北海道委員会の企画で“SNSを日常的に”と、『あなたの声を実現しました』という動画と、『苦小牧を〇〇したい』という動画を作成しました。ネットで【日本共産党北海道委員会】を検索していただいて開くと、[YouTube JCP北海道]という表示があるので、クリック（押す）すると私たちの動画が並んでいます。ぜひご覧ください。YouTubeからの検索も可能です。

まず『あなたの声を実現しました』では、子どもの医療費助成制度が18歳まで拡大したことと、澄川町の流れない排水路が改善したことをテーマにした動画です。2分くらいにまとめたもので、道委員会のSNS担当者がとても上手に編集してくれています。

2025年  
9.21  
No.1110



『苦小牧を〇〇したい』は、4人の市議団がそれぞれ訴えたショート動画です。私は選挙公約で掲げた「なにより平和」をテーマにしました。森本健太議員は「補聴器助成の実現」や「エゾシカ対策」などをテーマに、原啓司議員は「中心市街地の賑わい創出」などまちづくりをテーマに、富岡隆議員は「子どもの命と安全第1のまちづくり」をテーマにし、4人それぞれの熱い想いが込められた動画に仕上りました。編集を担当したのは松橋千春さんです。こちらもとても良い出来栄えです!!

SNSだけではなく、“生の訴え”をと、4人そろって街頭宣伝にも取り組みました。この日は天気も良く気温は29度。富岡議員は「暑いから」と半ズボンで登場。しかし、さすがに「半ズボンは・・・」と周りからの指摘を受け、着替えての参加になりました(笑)

スーパー前では消費税減税を訴え、苦小牧駅前では駅前再開発問題を、交差点では平和問題や暮らしの問題などを元気に訴えました。やっぱり宣伝は元気の源です。

市議団のSNSを紹介するチラシも松橋さんが作ってくれ配布しました。男子高校生が「それなんですか」と聞いてくれ、説明すると「友達にも配ります」と6枚も受け取ってくれました。嬉しいですね。SNSでも“生”でも、元気に訴えることが大切ですね。